



事業を通じた価値創造

事業を通じて価値を増大(創造)し、引き続きステークホルダーの皆さまから信用される企業をめざします。

お客さまに対する価値創造

光アクセスサービス(フレッツ光、コラボ光)

NTT西日本では、ユビキタスネットワーク社会の実現に欠かせない重要な通信インフラサービスとして、フレッツ光などの光アクセスサービスを提供しています。フレッツ光の提供開始以降、お客さまのニーズに合わせた多様かつ低廉な光サービスの提供や、お客さまの利用シーンに合わせた多彩なオプションサービスの提供などによりお客さまに選ばれ続けた結果、2015年度にはフレッツ光などの光アクセスサービスの契約者数が850万を突破しました。

また、2015年2月より提供開始した「光コラボレーションモデル」については、さまざまな業種の事業者(255社:2015年度末時点)が、光アクセスサービスと自社サービスなどを組み合わせたサービスを提供されており、その光アクセスサービス(コラボ光)の契約者数についても2015年度末には160万を突破しました。

今後はフレッツ光およびコラボ光を活用したアライアンスビジネスのさらなる推進によって、NTT西日本だけでは実現できなかった多彩なサービスや多様な料金プランを実現することで、新たなライフスタイルやワークスタイルの創造を図り、より豊かな社会の発展に貢献していきます。

ご当地フリーWi-Fi

昨今、訪日外国人旅行者数4,000万人(2020年)の実現に向けた取り組みにより、多くの外国人観光客が日本を訪れています。

そのようななかで、政府、自治体、観光地などでは、訪日外国人観光客の拡大に向けた取り組みに加え、ストレスなく快適な観光を満喫できるように、受入環境整備、各種施策を行っています。

このような状況において、NTT西日本グループは、通信

キャリアとして培ってきた「安心・信頼」の運用実績やノウハウ、ICTを活用し、外国人観光客から要望の高い無料公衆無線LANを、自治体と連携した「ご当地フリー Wi-Fi^{*1}」として提供し、エリア拡大を推進しています。簡単・便利なアプリ^{*2}に対応した「ご当地フリー Wi-Fi」は現在18府県を含む100近い自治体へ提供しています。また、整備したWi-Fiは災害時など有事の際に無料開放を行い、キャリアフリー、かつ、回数制限なしにご利用いただけます。

今後もICTを活用したサービスによって、外国人観光客の利便性向上や観光地の活性化などに取り組み、観光立国の実現に貢献していきます。

【ご当地フリー Wi-Fiホームページ】

<http://www.ntt-west.co.jp/freewifi/>

^{*1} NTT西日本が構築、運用をサポートする無料公衆無線LANサービス

^{*2} NTTブロードバンドプラットフォーム株式会社が提供する「Japan Connected-free Wi-Fi」、一度利用登録すれば各エリアをまたがってもワンタップで利用可能。

<http://www.ntt-bp.net/jcfw/ja.html>

地方創生プロジェクトの推進

日本における少子高齢化、人口減少の課題^{*1}のなかで、人口減少克服、地方創生という構造的な課題に取り組むために、それぞれの地域特性に即した課題解決を図ることをめざし、各自治体にてさまざまな取り組みを行っています。^{*2}

このような状況において、NTT西日本は地域密着の営業・サポート体制を活かし、お客さまの課題抽出と一緒に考え、きめ細やかなコンサルティングを行うことで、観光、防災、教育、エネルギー、農業などさまざまな分野で多様なニーズにお答えできるよう「スマート光タウン」を推進しています。

「スマート光タウン」とは、NTT西日本グループが提供する便利で快適なICTを使った未来型の街づくりの総称です。

^{*1} 平成27年版 厚生労働白書 「人口減少社会を考える～希望の実現と安心して暮らせる社会を目指して～」
<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15-1/dl/gaiyou.pdf>

^{*2} まち・ひと・しごと創生本部 事例のご紹介
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/case/index.html>

TOPICS

“地域全体で高齢者を見守る” 土佐町「安心安全見守りシステム」構築への取り組み

過疎化・高齢化によって、病気やけがなど高齢者の在宅生活における不安をどのように地域で見守っていくかが課題となるなか、高知県土佐郡にある土佐町では、高齢者の方々が安心安全な生活を送れる環境づくりを推進しています。そのひとつの取り組みとして、光インフラを活用した告知端末を各家庭に配置し、緊急時や災害時の放送を行うことで、住みよい環境を提供していましたが、その一方で、独居高齢者の増加に伴い、周囲との関わりによる安心安全を提供する必要性も高まっていました。

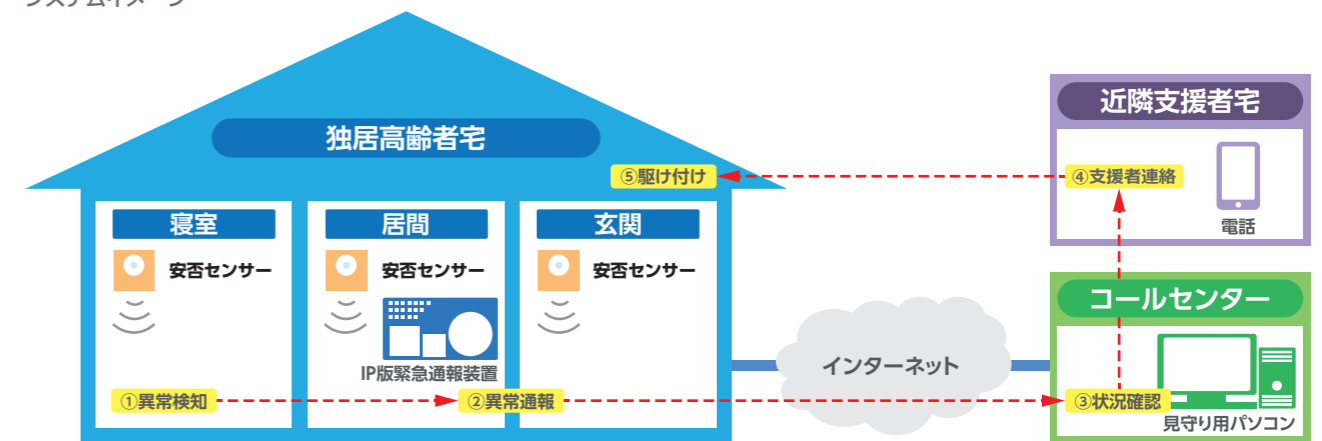
そこで土佐町では、NTT西日本が提案したIP版緊急通報端末と安否センサーを独居高齢者宅に導入しました。

高齢者が自宅にて異常を感じた際、IP版緊急通報端末のボタンを押すことで自らの異常を県外に設置されたコールセンターに通報することができます。

また、居間、寝室、出口に設置された安否センサーが24時間人の動きを検知することで異常を検知し、コールセンターから高齢者宅近隣の支援者に連絡を入れることで、地域における充実した見守りが可能になりました。

地域全体で高齢者を見守る、安心安全な暮らしを実現していく土佐町の取り組みを支えていくとともに、独居高齢者が安全な生活を送る環境づくりの実現に向け、NTT西日本はこれからも取り組んでいきます。

システムイメージ



担当者の声

独居高齢者の安心安全な生活は、多くの自治体の課題となっています。地域全体で高齢者を見守るシステムの導入によって土佐町の安心安全な町づくりに貢献することができ、大変良かったと思っています。



NTT西日本 高知支店
ビジネス営業部
営業担当課長代理
刈谷 雅博